

プレゼンテーション

現代の作品 XLVII (47)

# PRESENTATION

加藤真一郎 弦楽四重奏のための《カプリッチョ》 (1995)

Violin 廣田 真理衣、荒井 ひかる

Viola 太田 滉平 Cello 菊川 真

武澤 陽介 無伴奏チェロのための作品 (2021初演)

Cello 夏秋 裕一

森山 智宏 2 Caprices for Piccolo solo (2016/2021)

Piccolo 西田 紀子

山口 恭子 雫 (2021初演)

Piano 田口 真理子

渡部真理子 宵は遊びをりて (2021初演)

Piano 伊藤 友香

《プレゼンテーションの軌跡 IV》

Z. クラウゼ La Chanson du Mal-aimé (愛されぬ男の歌) (1991)

Piano 中野 洋子

《招待作品》

間宮芳生 2つのヴァイオリンとピアノのためのソナタ (1958)

Violin 城所 素雅 小平 怜奈 Piano 室井 悠李

【曲順未定】

日時 2021.10.6 (水) 19:00開演

(18:30開場)

会場 杉並公会堂 小ホール

主催 音楽文化協議会

後援 一般社団法人 日本作曲家協議会

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会

(ピティナ)

チケット 3,000円 (学生1,000円)

日本作曲家協議会会員の方は、  
当日、会員証を受付にてご提示の上  
無料でご入場頂けます。

お問い合わせ：[info\\_presen@yahoo.co.jp](mailto:info_presen@yahoo.co.jp)

<https://info-presen.wixsite.com/presen>

「プレゼンテーション」の第1回演奏会は、1968年、「日本現代歌曲の夕べ」として東京で開かれ、松平頼則、松葉良、石井五郎、伊藤隆太、塚谷晃弘などの作品が歌われた。彼らは、日本の伝統的語法を生かし、現代的感覚をもつ音楽を作曲したいと考え、それ以来、ほぼ毎年、新作の発表を行った。その後、新たな同人も加わり、次世代の作曲家たちへその伝統が受け継がれている。

その半世紀を超える活動においては、演奏家・音楽学者との協働により、同人の作品とともに、内外の同時代の作品の紹介にも努めてきた。ことに、2019年に他界された音楽学者の田村進の尽力による東欧の同時代作品の数々の日本初演は、我が国の音楽界に長く記憶に留められることであろう。今回、その初演を数多く手がけたピアニスト中野洋子により、田村氏の功績を偲びつつ、その軌跡を振り返る演奏を行う。

併せて、前回に続き日本を代表する作曲家間宮芳生の作品の招待演奏、そして今回新たに同人となった渡部真理子の新作にも期待したい。

## プレゼンテーション 同人作曲家プロフィール

### 加藤真一郎 KATO Shinichiro

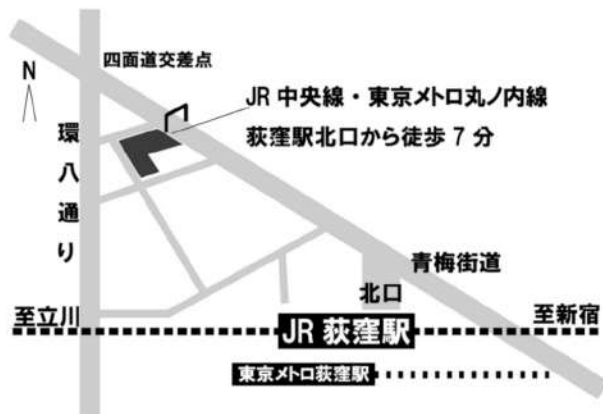
桐朋学園大学卒業、同大学研究科修了（作曲専攻）。ロストック音楽大学、ミュンヘン音楽大学ピアノデュオ科マイスター課程修了。文化庁在外研修員として研鑽を積む。瀬尾久仁&加藤真一郎ピアノデュオとして多数の受賞。国内外での演奏会、NHK「ベストオブクラシック」「クラシック倶楽部」等への放送出演、都響、東フィル、京響との協奏曲の共演。CD「2 pianos」(FONTTEC)、「やさしい2台ピアノ曲集」「ベートーヴェン ピアノソナタ集」（ともに音楽之友社）が発売中。作曲家としては大学卒業作品《Cyclosis for orchestra》が第13回芥川作曲賞ノミネート。現在、国立音楽大学、桐朋学園大学、東京藝術大学非常勤講師。http://www.seokato.com/

### 武澤陽介 TAKEZAWA Yousuke

東京藝術大学を経て同大学院を修了。アカンサス音楽賞を2度受賞。作曲を尾高惇忠、高橋裕の各氏に師事。これまで都立総合芸術高校、桐朋学園大学などで講師を勤める。

### 森山智宏 MORIYAMA Tomohiro

1977年生まれ。桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科を経て、同大学研究科作曲専攻修了。作曲を北爪道夫、飯沼信義、鈴木輝昭、ピアノ・作曲を間宮芳生の各氏に師事。第68回日本音楽コンクール作曲部門入選。第17回奏楽堂日本歌曲コンクール(一般の部)第1位。ピアノデュオ瀬尾久仁&加藤真一郎、東京混声合唱団、日本演奏連盟、指揮者山田和樹氏、プリムローズ・マジック、カワイ出版、音楽之友社等より委嘱を受け作品を発表。特に子供のためのピアノ作品が多数出版され、ピティナピアノコンペティションやカワイ音楽コンクール等で課題曲に選ばれている。作曲活動と並行し、日本ピアノ教育連盟等の企画で、ソルフェージュやピアノ教育についての講演を行う。現在、桐朋学園大学音楽学部准教授。日本作曲家協議会 理事。全日本ピアノ指導者協会 正会員。日本ソルフェージュ研究協議会 会員。



杉並公会堂 〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15  
TEL:03-3220-0401

### 山口恭子 YAMAGUCHI Kyoko

桐朋学園大学作曲理論学科卒業、同大学研究科修了。これまでに作曲を三瀬和朗、金子仁美、小鍛冶邦隆の各氏に、ピアノを林達也氏に師事。第72回、第76回日本音楽コンクール作曲部門第3位入賞、岩谷賞受賞。第18回武生国際音楽祭にて武生作曲賞入選。作品はこれまで、HIROSHIMA HAPPY NEW EAR、Point de Vue、OTOの会等様々な機会で開催されている。これまで桐朋女子高等学校、東京藝術大学等で非常勤講師を勤める。現在、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。日本ソルフェージュ研究協議会会員。

### 渡部真理子 WATANABE Mariko

宮城県仙台市出身。仙台白百合学園中学・高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了。2013年「奏楽堂モーニング・コンサート」、2017年「創造の杜～藝大現代音楽の夕べ」において、オーケストラ作品が藝大フィルハーモニア管弦楽団により初演。学内にて長谷川良夫賞、卒業時にアカンサス音楽賞、修了時に大学院アカンサス音楽賞受賞。作曲を喜久邦博、八島秀、小島佳男、北村昭、山本純ノ介、安良岡章夫の各氏に、ピアノを澁谷由起、安田里沙、手塚真人の各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部、桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室非常勤講師。21世紀音楽の会会員。作曲家・作品・演奏家・聴衆・演奏空間の結び目となるコレクティブ《NODUS》メンバー。

\* \* \* \* \*

### ジグムント・クラウゼ Zygmunt KRAUZE

1938年ワルシャワ生まれのポーランドの代表的な作曲家であり、ピアニスト、教育者としても活躍。ワルシャワ音楽アカデミーにてピアノ、作曲を学んだ後、パリではN.ブーランジェに師事。ピアノを用いた数多くの作品を手がけ、《愛されぬ男の歌》は1991年ジュネーヴにて初演。「プレゼンテーション」では、2000年開催の「そのXXX (30回)」にて、中野洋子により同作品が演奏された。

### 間宮芳生 MAMIYA Michio

1929年、北海道生まれ。日本を代表する作曲家の一人。1948年東京音楽学校（現東京藝術大学）に入学、作曲を池内友次郎に、ピアノを田村宏に師事。1952年同校卒業。1953年に外山雄三、林光とともに「山羊の会」を結成し、作曲活動に入る。作品は、世界の民俗音楽の研究に根差したものが多く、「合唱のためのコンポジション」シリーズやオペラなど、主に声を媒体にするものにおいては顕著に表れている。作曲活動とあわせて、東京藝術大学や桐朋学園大学で後進の指導も行う。1978年芸術祭優秀賞を受賞。1992年（平成4）紫綬褒章受章。著書に『現代音楽の冒険』（1990）など。